



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: https://www.t-namakyo.jp/
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

- (11月)
13日(月) 理事会(No. 1205)
27日(月) 理事会(No. 1206)
- (12月)
11日(月) 理事会(No. 1207)
25日(月) 理事会(No. 1208)

2023年度 上期実績と下期見込み

月	2022年度実績	2023年度	前年比	年初計画
4	265,419	205,239	77.3	260,000
5	229,951	198,051	86.1	230,000
6	262,883	229,019	87.1	260,000
7	236,705	228,611	96.6	260,000
8	218,344	203,883	93.4	230,000
9	244,603	235,188	96.2	260,000
上期計	1,457,905	1,299,992	89.2	1,500,000
10	231,789	255,729	110.3	260,000
11	233,927	260,000	111.1	260,000
12	231,391	260,000	112.4	260,000
1	174,879	210,000	120.1	210,000
2	202,254	250,000	123.6	250,000
3	237,845	260,000	109.3	260,000
下期計	1,312,085	1,495,729	114.0	1,500,000
年度計	2,769,989	2,795,721	100.9	3,000,000

※10～3月は想定

2023年度上期出荷実績と今後の展望

---出荷状況---

東京協組の2023年度上半期出荷実績は、前年比89.2%、年初計画比86.7%の1,300千㎡と前年、年初計画数量とも大幅に下回りました。昨年度下期より、急速に出荷数量が減少しています。これは、建設技術者並びに作業員不足により都心部での再開発工事や新規工事で遅れが生じ始めたこと、異常気象による猛暑や大雨の影響によるものと推測されます。

9月末の契約残数量は、4,179千㎡でした。下期については、出荷数量は少しずつ回復傾向となり、品川地区再開発工事や日本橋・八重洲地区再開発工事向け出荷が最盛期を迎える予定で、年初計画数量の1,500千㎡で推移するものと思われま

す。10月に入り、10千㎡/日 超えの出荷も増えてきていますが、前年に比べ納入予定の直前キャンセルが増加しており、トータル輸送力の減少により現在の出荷数量でも予定が入りにく

なっています。今後の安定供給確保に備えるため予定精度の向上が不可欠です。予定精度の向上は、登録販売店と当協組調整管理部の努力だけでは解決しません。需要家様のご協力を強くお願いいたします。当協組では、リーフレット「生コンの予定変更・キャン

セルをなくして下さい！」を配布し組合員工場の苦境をデータでお示ししています。ご一読いただきご理解ご協力をお願いいたします。

---市況対策---

2024年4月より1,000円/㎡の値上げをお願いすることとなりました。新たな粗骨材・細骨材の大幅な値上げ要請及び産業廃棄物処理費の大幅な値上げ要請を受けていることや、来年度の更なる労働賃金の上昇、生コン輸送費の上昇が確実視されていることなどが要因です。本年4月より新しい販売契約方式として、販売価格の設定を「出荷ベース」にて「1年間の期間契約」とすることとしております。よって、既契約分についても値上げをお願いいたします。

また、旧契約物件の経過措置についても、24ヶ月を大幅に超過している物件が多数あり組合員の大きな負担となっています。当協組並びに組合員が持続的な発展をしていくために必須であることから、ご理解を得られるよう説明してまいります。

さらに、残コンの有償化を本年4月より実施しました。制度を導入して数ヶ月ですが、効果はまだ見られません。引き続きご理解を得られるよう説明してまいります。効果が見られないようであれば、近隣協組同様、抑止力の観点から全量有償化の検討に入ります。

---当面の課題---

東京協組では政府の推進する働き方改革の取組みを踏まえ、組合員の職場環境の改善、また人材確保の観点から完全週休2日制を2025年4月より導入する検討に入りました。また、スライド表の見直しに着手しました。特殊品や環境配慮型の増加など、現状に合った変更を2025年4月の改定を目途とし検討していきます。

新任理事 ご挨拶

ときお
黒津 登喜郎



10月の臨時総会において理事に就任しました内山アドバンスの黒津です。出身は仙台です(高校の同窓で14歳年下にサンドウィッチマンがいて、その活躍は嬉しい限りです)。小野田セメントに入社後、2度の合併(秩父小野田、太平洋セメント)を経て、現在は内山アドバンスに10年、常務取締役として経理・経営管理を主に担当しています。

さて、今の生コン会社の経営は、セメント価格のアップは勿論、骨材、混和剤等の原材料や、電力、トラック運賃等々全ての製造・出荷コストの値上げにより事業採算は悪化の状況にあります。また人手不足や労務コンプライアンスの徹底など多くの労働環境の課題があり事業経営は激動・激変期にあると思います。

協同組合は同業者が一つに連携し、組合員共通の課題を解決すべくこの難局を乗り越える組織です。建設会社との商慣習や販売店との連携など、従来通り引き継ぐもの、改革改善が必要なもの等実態を理解し、ベストな協組事業の運営となるよう組合員の一員として取り組んでまいりたいと思います。

そんな中、私は今年、社会保険労務士資格により開業登録を行いました。社労士は、「労働及び社会保険に関する法令の円滑な実施への寄与」として、労働基準法、労働安全衛生法、雇用保険法、健康保険法から年金制度、定年後雇用の高齢者雇用安定法、ハラスメント防止の労働施策総合推進法等々私たちが働く上で直接関りがあり、また広範なものとなります。

生コン業界においても人口オーナス社会における人材の確保、育成、定着の課題やデジタル化、非正規労働者等の多様な働き方への取り組みまた直近では建設業や運送業における2024年問題の影響等も最重要課題です。

生コン業界を持続可能なものとしていくため、「働き方改革」から「働きがい改革」にシフトし、「人を大切に生コン業界」を維持発展させるため、東京協組の事業運営に積極的に参画してまいりますので、皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

(株)内山アドバンス 常務取締役

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	10月(実績)	11月(月初想定)	10月(実績)	
	前年比	前年実績比	前年比	前年比
大型	227,448 m ³	113.3%	220,000 m ³	107.9%
小型	28,282 m ³	91.2%	30,000 m ³	99.9%
計	255,729 m ³	110.3%	250,000 m ³	106.9%
			引合	139,728 m ³ 147.6%
			成約	118,888 m ³ 143.0%
			契残	4,078,308 m ³ 81.2%

オーナー会議開催報告

組合員代表者が参加するオーナー会議を10月3日(火)に開催いたしました。会議の冒頭に青木理事長が協組の現状を説明するとともに協組運営への協力を謝辞を述べ、その後下記の議事について各担当理事より説明を行いました。

- 【議事】
- 銀行借入による仕入価格増額補填実施について(高村専務理事)
 - 2024年4月1日以降の生コン販売価格について(要営業委員長)

- 3.その他
- 完全週休2日制への取り組みについて(嶋津副理事長)
 - 価格スライド表改定に向けた取り組みについて(一ツ木副理事長)
 - 生コンの予定変更・キャンセル削減PR強化について(須田営業本部長)

今後も組合員との相互理解を図りながら一致団結して安定した将来性のある業界になるよう努めて参ります。

登録販売店会議開催報告

登録販売店会議を10月11日(水)に開催いたしました。青木理事長の挨拶の後、下記の議事について各担当理事より説明を行いました。

- 【議事】
- 販売方針(要営業委員長)
 - 2024年4月1日以降の生コン販売価格について
→ 定価を22,000円/m³とする
 - 旧契約の経過措置及び軽量コンクリートスライド改定の経過措置について
 - 当協組の現状について(要営業委員長)

- 3.直面する課題・連絡事項(須田営業本部長)
- 完全週休2日制実施への取り組み
 - 生コンの予定変更・キャンセル削減PRのリーフレット活用について
 - 大型貨物等都心部通行禁止規制の周知について
 - 員外物件報告書の取り扱い

今後も登録販売店と意思疎通を図りながら当協組の施策実行に努めて参ります。

2023年度 年末年始休業日一覽

工場名	12月						1月						工場名	12月						1月					
	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6		25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
植木生コン						x	x	x	x	x	x	x	桐生レミコン						x	x	x	x	x	x	
城北小野田レミコン						x	x	x	x	x	x	x	内山アドバンス 城南						x	x	x	x	x	x	
豊川興業						x	x	x	x	x	x		関東宇部コンクリート工業 大井					x	x	x	x	x	x		
横山産業 川口						x	x	x	x	x	x	x	東京湾岸産業						x	x	x	x	x	x	
関東コンクリート						x	x	x	x	x	x	x	宮松エスオーシー リンかい						x	x	x	x	x	x	
八洲コンクリート						x	x	x	x	x	x	x	川崎徳山生コンクリート						x	x	x	x	x	x	
内山アドバンス 草加						x	x	x	x	x	x	x	カナリョウ						x	x	x	x	x	x	
日立コンクリート 戸田橋						x	x	x	x	x	x	x	第一コンクリート						x	x	x	x	x	x	
埼玉エスオーシー 戸田						x	x	x	x	x	x	x	川崎宇部生コンクリート						x	x	x	x	x	x	
柳下生コ						x	x	x	x	x	x	x	川崎内山アドバンス						x	x	x	x	x	x	
横山産業 大和						x	x	x	x	x	x	x	神奈川秩父レミコン						x	x	x	x	x	x	
芹澤建材						x	x	x	x	x	x	x	溝口瀬谷レミコン						x	x	x	x	x	x	
東京コンクリート 久留米						x	x	x	x	x	x	x	多摩						x	x	x	x	x	x	
三多摩アソコンクリート						x	x	x	x	x	x	x	大角						x	x	x	x	x	x	
大戸コンクリート工業						x	x	x	x	x	x	x	関東宇部コンクリート工業 溝の口						x	x	x	x	x	x	
むさしの生コン						x	x	x	x	x	x	x	宮松エスオーシー 川崎						x	x	x	x	x	x	
武蔵菱光コンクリート						x	x	x	x	x	x	x	日本強力コンクリート工業(※)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
内山コンクリート工業						x	x	x	x	x	x	x	東京クヤマコンクリート						x	x	x	x	x	x	
東京菱光コンクリート						x	x	x	x	x	x	x	関東宇部コンクリート工業 豊洲						x	x	x	x	x	x	
東京エスオーシー 芝浦						x	x	x	x	x	x	x	吉田建材 若洲						x	x	x	x	x	x	
関東宇部コンクリート工業 品川						x	x	x	x	x	x	x	吉建エスオーシー 新砂						x	x	x	x	x	x	
青木コンクリート						x	x	x	x	x	x	x	上陽レミコン 東京						x	x	x	x	x	x	
井口生コンクリート工業						x	x	x	x	x	x	x	東京コンクリート 砂町						x	x	x	x	x	x	
河島コンクリート工業						x	x	x	x	x	x	x	東京エスオーシー 業平橋						x	x	x	x	x	x	
鈴木コンクリート工業						x	x	x	x	x	x	x	内山アドバンス 第二						x	x	x	x	x	x	
大功コンクリート工業						x	x	x	x	x	x	x	内山アドバンス 第一						x	x	x	x	x	x	
トウザキ						x	x	x	x	x	x	x	関東宇部コンクリート工業 浦安						x	x	x	x	x	x	
協組事務局						x	x	x	x	x	x	x	市川 菱光						x	x	x	x	x	x	
													東京エスオーシー 市川						x	x	x	x	x	x	
													船橋レミコン						x	x	x	x	x	x	
													日立コンクリート 新砂						x	x	x	x	x	x	
													松戸生コンクリート						x	x	x	x	x	x	

(※) 日本強力コンクリート工業(株)若洲工場は、設備更新の投資環境が整うまでの当面の間操業を休止し、2024年1月1日以降、上陽レミコン(株)へ製造委託することとしております。

わが社の安全対策

柳下生コン(株)

当社は昭和38年に建材店からスタートし、今年で創業60年になります。現在のプラントは昭和63年に建て替えを行って以来、ミキサの更新や設備の改造を行って稼働しております。

【安全対策】

1. 工場やミキサー車は綺麗にしておく。

近隣に住宅が多いため工場の清掃作業には従業員みんなが力を入れて取り組んでおります。

ミキサー車についても、各ドライバーが責任をもって綺麗にしております。

2. プラントの修繕は早目に行う。

3. 出来るだけ作業スペースを確保する。

先代が若い頃、バルコンに挟まれた経験から作業時に危険を伴うプラントの計量フロア、ミキサーフロア、バルコン周り、特に骨材引出しバルコンについては、安全を考え広い作業スペースを確保しています。

4. 工場の施設管理の点検・修理は常に2名体制で行なう。

可能な限り2名体制での実現を目指しておりますが、人員不足もあり状況により一人でやることもありますが実情です。

5. 危険箇所には安全標識を設置し注意喚起をする。

当社は近隣に配慮し、車輛の待機は原則、アイドリングストップを実施しております。特に夏場の時期はミキサー車のドライバーの方々は大変不自由で暑い思いをしながら仕事に従事してもらっています。猛暑対策として、ミストシャワー、ミスト扇風機、日影の待機場所を設けスポットクーラーを設置しましたが、効果としては多少の改善程度でした。今年度中に来年の猛暑対策として、駐車場内に新たにエアコン完備の休憩室を設置する予定です。今年の夏は納入先で長時間の荷卸し作業でドライバーが熱中症になってしまった事例が発生しました。

生コン工場は製品の性質上、当日における受注生産で納入ピッチも要望に合わせることで、昼の休憩時間を短縮してもらう事もありますし、ネコ取り等で長時間拘束となる事もあり、納入先での安全対策は難しいと痛感させられました。

会社側としては、出来るだけ作業し易い環境を整え、負担軽減を考えるように努力していきたいと思っております。

働く人たちが健康でなければ安全対策につながらない。健康診断の結果に対してのフォローアップや健康管理にも力を入れていきたいと考えております。